

2020年9月11日

鹿児島大学病院 脳神経内科で

「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」

にご参加頂いた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター神経免疫学分野では鹿児島大学医歯学総合研究科神経病学講座脳神経内科・老年病学分野と共同で以下の医学研究を実施しております。以前私どもにより行われた「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生命倫理・遺伝子解析研究倫理委員会：承認番号第98号、変更申請により現在、第434号)にご参加頂いた患者さんの試料より得られた研究データを用い、これに新たに Y 染色体遺伝子の解析を加えて、チベットを中心とした中国人の HTLV-1 および Y 染色体と比較検討する研究を計画しているため、お知らせします。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」および「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

日本人の起源に関連する HTLV-1 と Y 染色体ハプログループの国際共同研究

【研究機関】

鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
鹿児島大学医歯学総合研究科脳神経内科・老年病学分野
国立台湾大学臨床検査学講座

中国・福建医科大学第二医院神経外科講座
中国廈門大学医学院基礎医科学
中国医学科学院輸血研究所

【研究責任者】

鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター神経免疫学分野
教授 久保田龍二

【研究の目的】

日本人 HTLV-1 感染者より HTLV-1 遺伝子型および Y 染色体ハプログループ（遺伝子の型）を調べます。日本人に遺伝的に近いチベット人の分布する中国（チベット自治区、四川省、雲南省）の HTLV-1 感染状況、HTLV-1 遺伝子型、Y 染色体ハプログループの解析を行います。次いで中国福建省、チベット、台湾、日本の HTLV-1 遺伝子型と Y 染色体ハプログループとの関係を総合的に検討します。この国際共同研究により、HTLV-1 の進化、アジアでの拡散を明らかにし、さらには日本人の起源を明らかにすることを目指します。

【研究の方法】

日本人、中国人、台湾人で HTLV-1 陽性者の HTLV-1 遺伝子配列を決定し、HTLV-1 陽性者で男性の場合、Y 染色体のハプログループの解析を行います。すでに「HTLV-1 関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生命倫理・遺伝子解析研究倫理委員会：承認番号第 98 号、変更申請により現在、第 434 号）に研究協力をされた皆様の、HTLV-1 遺伝子解析は済んでいます。今回の研究では、残余検体を用いて新たに Y 染色体ハプログループを解析します。このようにして得られた日本人、中国人、台湾人のデータを総合し、HTLV-1 のアジアでの拡散、進化、日本人のルーツについて解析します。なお、より詳しい解析のために中国の研究者に、皆様の HTLV-1 配列情報や Y 染色体ハプログ

ループ情報を提示する可能性があります。その場合は対応表なしの匿名化した情報を提示します。また、本研究は多施設共同研究ですが鹿児島大学が代表で行います。

【対象となる患者さん】

2014年6月6日から2016年3月31日までに、鹿児島大学病院神経内科でHAMまたはHTLV-1キャリアと診断され、「HTLV-1関連疾患の病態解明と治療法・予防法の開発に関する研究」（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科生命倫理・遺伝子解析研究倫理委員会：承認番号第98号、変更申請により現在、第434号）にご参加頂いた方の中で、残余検体を他の研究に用いることを承諾された患者さん。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

以前皆様から同意を得られた研究で解析しましたHTLV-1ウイルスの遺伝子配列と臨床診断名（HAMまたはHTLV-1キャリア）の情報に加え、残余検体を用いて新たにY染色体ハプログループを解析します。

【個人情報の取り扱いについて】

HTLV-1ウイルスの遺伝子配列情報を利用しますがこれは個人情報ではありません。今回新たにY染色体ハプログループの解析を行います。これは皆様の遺伝子情報に当たります。従って、あなたの試料や診療情報は、解析する前に試料台帳などから住所、氏名、生年月日など個人を特定できる情報を消して符号化します。この符号化は本研究に直接関わらない個人情報分担管理者が行い、あなたとこの符号を結びつける対応表は、個人情報管理者により厳重に管理されます。こうすることによって、あなたの遺伝子の解析結果は研究者には誰のものか分からなくなります。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

本研究の経費は、神経免疫学分野の研究費および公的研究費である科学研究費よりまかなわれますので、起こり得る利害の衝突はありません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8544

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター神経免疫学分野

教授 久保田龍二（くぼたりゅうじ）

電話 099-275-5941 FAX 099-275-5942